

北部版 [島田地区(身成、伊久美)・金谷地区(高熊)・川根地区]

島田市洪水・土砂災害 ハザードマップ

●●● 洪水・土砂災害ハザードマップとは ●●●

洪水・土砂災害ハザードマップとは、大雨によって島田市内を流れる河川が氾濫した場合に想定される浸水の範囲や深さ、土砂災害が発生した時に被害がおよぶおそれがある範囲を示した地図です。

この洪水・土砂災害ハザードマップを参考に、日頃からいざという時に備え、ご自身の避難所や避難経路、情報入手先などを事前に確認しておきましょう。また、家族の連絡先や集場所などについて話し合い、「わが家の防災メモ」欄に書き込んで、分かりやすい場所、見やすい場所に保管しておきましょう。



日頃から備えておきましょう

避難所・避難経路を確認しましょう

防災訓練へ参加しましょう

事前に避難行動計画(マイタイムライン)を作成し、避難のタイミングを決めておきましょう

ご近所との「日常的な交流」を心がけましょう

◆ 非常用持ち出し袋 (避難の際に持ち出すもの)

- 水・食料**

 - 水
 - 食品 (ご飯(アルファ米等)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パン等最低3日分の用意)

衛生用品

 - 救急用品 (ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬等)
 - マスク
 - 手指消毒用アルコール
 - 石けん・ハンドソープ
 - ウェットティッシュ
 - 体温計 洗面用具
 - 歯ブラシ・歯磨き粉
 - タオル 簡易トイレ

乳幼児がいる家庭の備え

 - ミルク (キューブタイプ)
 - 使い捨て哺乳瓶
 - 離乳食 抱っこひも
 - 子供用紙オムツ
 - お尻ふき ネックライト
 - 洗面用具 子供の靴

女性の備え

 - 生理用品
 - おりものシート
 - サニタリーショーツ
 - 中身の見えないごみ袋

貴重品

 - 通帳
 - 現金
 - パスポート
 - 運転免許証
 - 病院の診察券
 - マイナンバーカード等
 - 印鑑 健康保険証

高齢者がいる家族の備え

 - 大人用紙パンツ
 - 杖 補聴器
 - 入れ歯 持病の薬
 - お薬手帳のコピー

◆ 備蓄品 (自宅に備えておくもの)

- 食料や水 (1週間分×家族分)
- 生活用品 (例えば、ティッシュ、トイレトペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ)

ローリングストック



家族や地域で確認しておきましょう

わが家の防災メモ

わが家の避難所						わが家の集場所				
家族の連絡先	名前	血液型	電話番号	会社・学校名	会社・学校の連絡先					
その他の連絡先 ()										
その他の連絡先 ()										

◆ 災害用伝言ダイヤル・伝言板

[安否確認の方法]
災害時に被災地にいる家族などの安否を音声やインターネットで確認する伝言板です。

音声で 災害伝言ダイヤル171

伝言の録音方法
171▶1▶被災者宅の電話番号▶伝言を「録音」

伝言の再生方法
171▶2▶被災者宅の電話番号▶伝言を「再生」

インターネットで 災害用伝言板(web171)

右のQRコードを読み取り、伝言の登録・確認



ハザードマップについての問合せ先
危機管理部危機管理課
TEL 0547-36-7143
島田市ホームページ「洪水・土砂災害ハザードマップ」



目次

島田市の過去の水害	1
洪水とは？／土砂災害とは？	2
ハザードマップの見方／浸水想定結果の捉え方／対象とする河川と想定雨量	3
ハザードマップの図郭	4
[島田市全域] 想定最大規模の降雨による河川氾濫と土砂災害	5
[島田市北部] 想定最大規模の降雨による河川氾濫／土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域	6
想定最大規模の降雨による河川氾濫の浸水想定区域図	7
[島田市全域] 計画規模の降雨による河川氾濫と土砂災害	43
[島田市北部] 計画規模の降雨による河川氾濫と土砂災害	44
計画規模の降雨による河川氾濫の浸水想定区域図	45
市が発信する避難に関する情報	59
国や県が発信する避難に関する情報の入手先／避難時の心得	60
指定避難所の一覧	61
災害対策重要関係機関の一覧	62
日頃から備えておきましょう／家族や地域で確認しておきましょう	63

島田市の過去の水害

島田市では、過去に昭和57年9月(台風18号)や平成10年9月(台風7,8号)などに大きな洪水被害を受けています。特に昭和57年は大津谷川、伊太谷川、大代川、湯日川、相賀谷川など市内の至る箇所で外水氾濫や内水氾濫が起こり、大きな被害が発生しました。

近年においても、令和4年9月の台風15号により、建物被害等が発生しています。河川の整備は進んでいますが万全ではありません。気象情報などに気をつけて水害に備えましょう。

水害の名称	昭和57年9月台風18号		令和4年9月台風15号 (R5.1.13時点)		
	観測所名	島田消防署	菊川牧の原 (気象庁)	島田	伊久美
最大1時間雨量	68mm	91mm	126mm	127mm	107mm
総雨量	523mm	553mm	309mm	546mm	431mm
被害等	<ul style="list-style-type: none"> ・全半壊12棟 ・家屋浸水約1,400戸 		<ul style="list-style-type: none"> ・半壊8棟 ・家屋浸水199戸 ・道路被害 (国道473号、県道蔵田島田線他) 		

▼ 昭和57年9月台風18号 相賀地区



▼ 令和4年9月台風15号 国道473号道路崩落(福用地内)

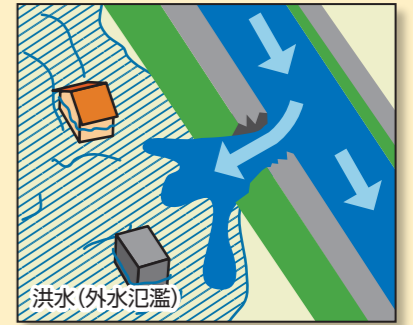


洪水とは？

洪水(外水氾濫)とは

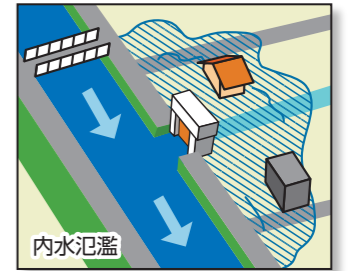
大雨で河川を流れる水が急激に増え、その水が堤防などを越えてあふれ出たり、決壊するなどして、河川の水が市街地や農地に流れ出ることを洪水といいます。このハザードマップを見て、洪水により想定される浸水の範囲や深さを確認しておきましょう。

また、中小河川は、大井川等の大きい河川に比べて、短時間で急激に水位が上昇し、氾濫するおそれがあります。早めの避難を心がけましょう。



洪水(外水氾濫)と内水氾濫

水害には、「洪水(外水氾濫)」と「内水氾濫」があります。「内水氾濫」は雨により川の水位が上がることで、水路から排水ができなくなり水があふれだす現象です。これらの氾濫は、それぞれ発生する要因が異なるため、発生する場所や時間が異なります。発生する要因や状況を理解し、水害から身を守りましょう。



土砂災害とは？

土砂災害は、「がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)」「土石流」「地すべり」の3つに分類されます。土砂災害の前兆現象には、がけから小石がパラパラ落ちる、斜面から水がわき出る、斜面にひび割れができるなどがあります。

大雨時や土砂災害警戒情報が発表された時は、早めの避難を心がけましょう。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)とは

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。

がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。



土砂災害からの逃げ方

崩れた土砂はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



土石流とは

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。

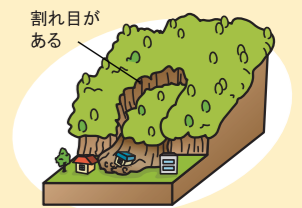
その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべりとは

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また、一旦動き出すとこれを完全に停止させることは非常に困難です。

我が国では、地質的にせい弱であることに加えて梅雨あるいは台風などの豪雨により、毎年各地で地すべりが発生しています。



ハザードマップの見方

凡例	
浸水深の目安	
~20.0m	[げけ崩れ(急傾斜地の崩壊)]
~10.0m	■ 土砂災害特別警戒区域
5.0m(2階水没)	■ 土砂災害警戒区域
3.0m(2階床下)	[土石流]
0.5m(大人の膝)	■ 土砂災害特別警戒区域
	■ 土砂災害警戒区域
	[地すべり]
	■ 土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域等
 [げけ崩れ(急傾斜地の崩壊)]
 ■ 土砂災害特別警戒区域
 ■ 土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域とは
 建造物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害警戒区域とは
 住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域

島田市 わが街ガイド

防災マップを確認しましょう

早期の立退き避難が必要な区域とは ※凡例 ☒

「早期の立退き避難が必要な区域」とは、市が、生命・身体に直接影響を及ぼす可能性がある区域を早期に避難場所等への立退き避難が必要な区域として設定しています。

この区域は、建物の2階以上の浸水や家屋が倒壊するような氾濫流の発生などが想定されています。避難情報等の発令に従い、速やかな立退き避難が必要な区域です。

浸水想定結果の捉え方 ～想定最大規模と計画規模～

このハザードマップでは、想定し得る最大規模(想定最大規模)及び計画規模の降雨に伴い発生する洪水により想定される浸水の範囲や深さを示しています。

想定最大規模の降雨は、発生確率が極めて低いですが、被害規模が特に大きくなることが想定されます。計画規模の降雨は、想定最大規模の降雨と比べ発生確率が高く、概ね30～100年に1回程度の割合で発生する降雨量を想定したもので、河川整備など洪水防御に関する計画の基本となるものです。

被害が広範囲かつ大規模になることが想定される想定最大規模の降雨と、実際に発生する確率が高い計画規模の降雨による浸水リスクを確認し、避難の方法やタイミング等を考えましょう。

※このハザードマップは、前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫及び内水による氾濫等を考慮していませんので、浸水が想定されていない区域でも浸水したり、想定される水深が実際の浸水の深さと異なることがあります。

対象とする河川と想定雨量

このハザードマップで対象とする河川と想定する降雨条件は次のとおりです。

河川	想定最大規模		計画規模	
	2日間総雨量	787mm	2日間総雨量	551mm
大井川	16時間総雨量	750.7mm	1時間雨量	96.9mm
大津谷川	18時間総雨量	772mm	1時間雨量	90mm
大代川	14時間総雨量	729.3mm	1時間雨量	88.8mm
湯日川	18時間総雨量	772mm	18時間総雨量	357.7mm
栃山川	16時間総雨量	750.7mm	—	—
伊太谷川	18時間総雨量	772mm	—	—
東光寺谷川	16時間総雨量	750.7mm	—	—
尾川	18時間総雨量	772mm	—	—
清水川	—	—	—	—

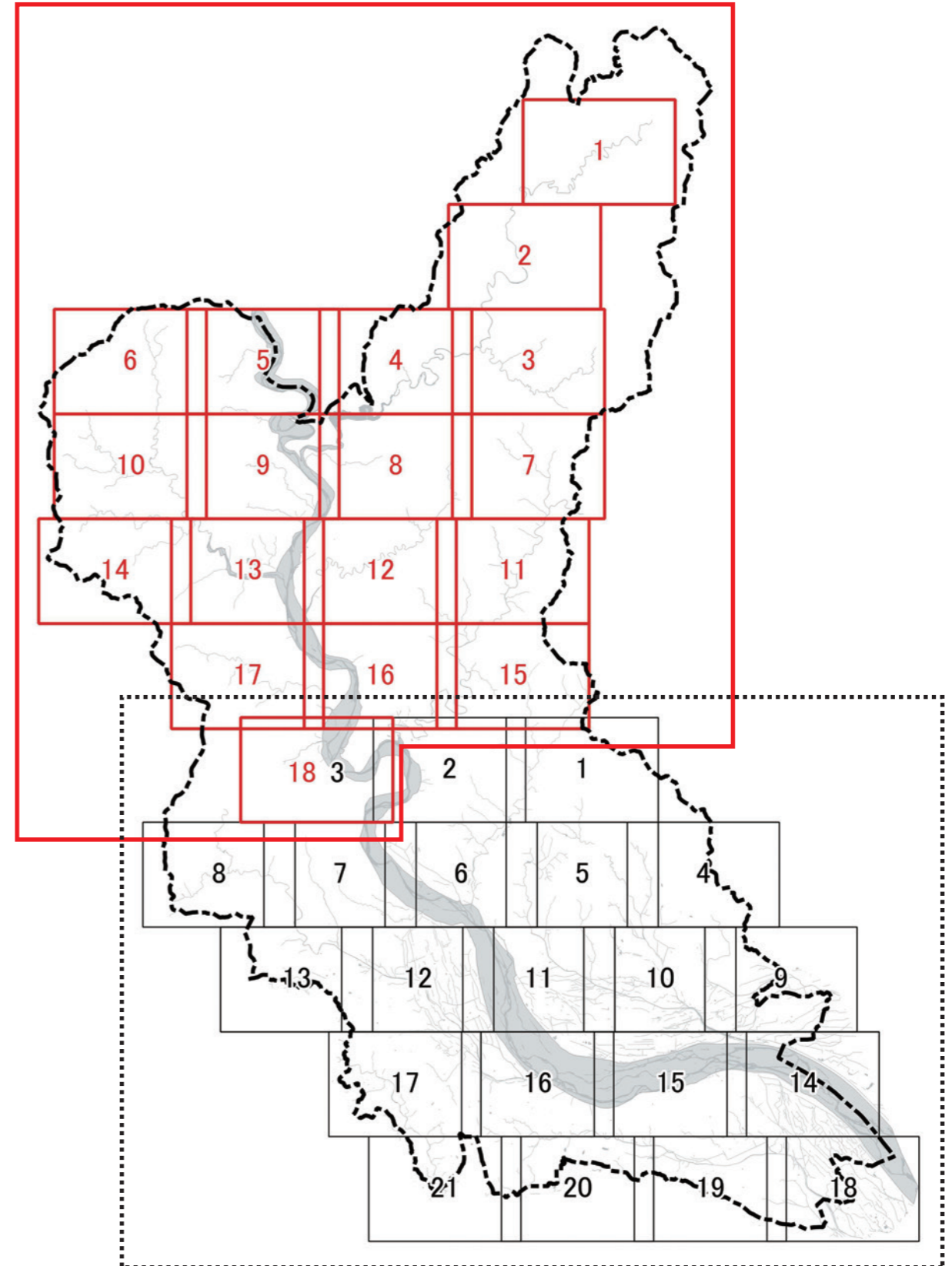
※これらの雨量は、各河川の流域の降雨を対象としています。

ハザードマップの図郭

「島田市洪水・土砂災害ハザードマップ」は「北部版」の冊子と「南部版」の冊子の2部構成で作成しています。ハザードマップの図郭は以下のとおりです。図郭番号を基に該当するページを確認しましょう。

※図郭とは、地図の区画を言います。

北部の図郭(本冊子にて掲載)

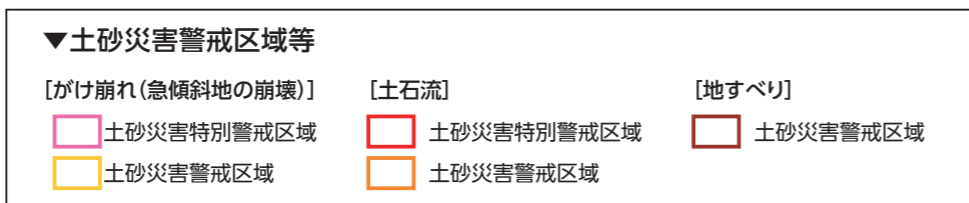
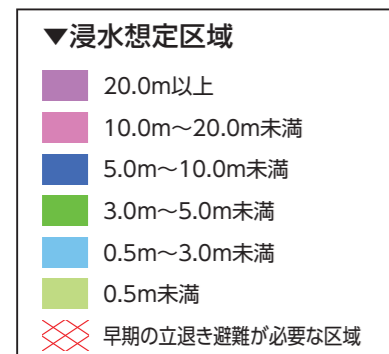
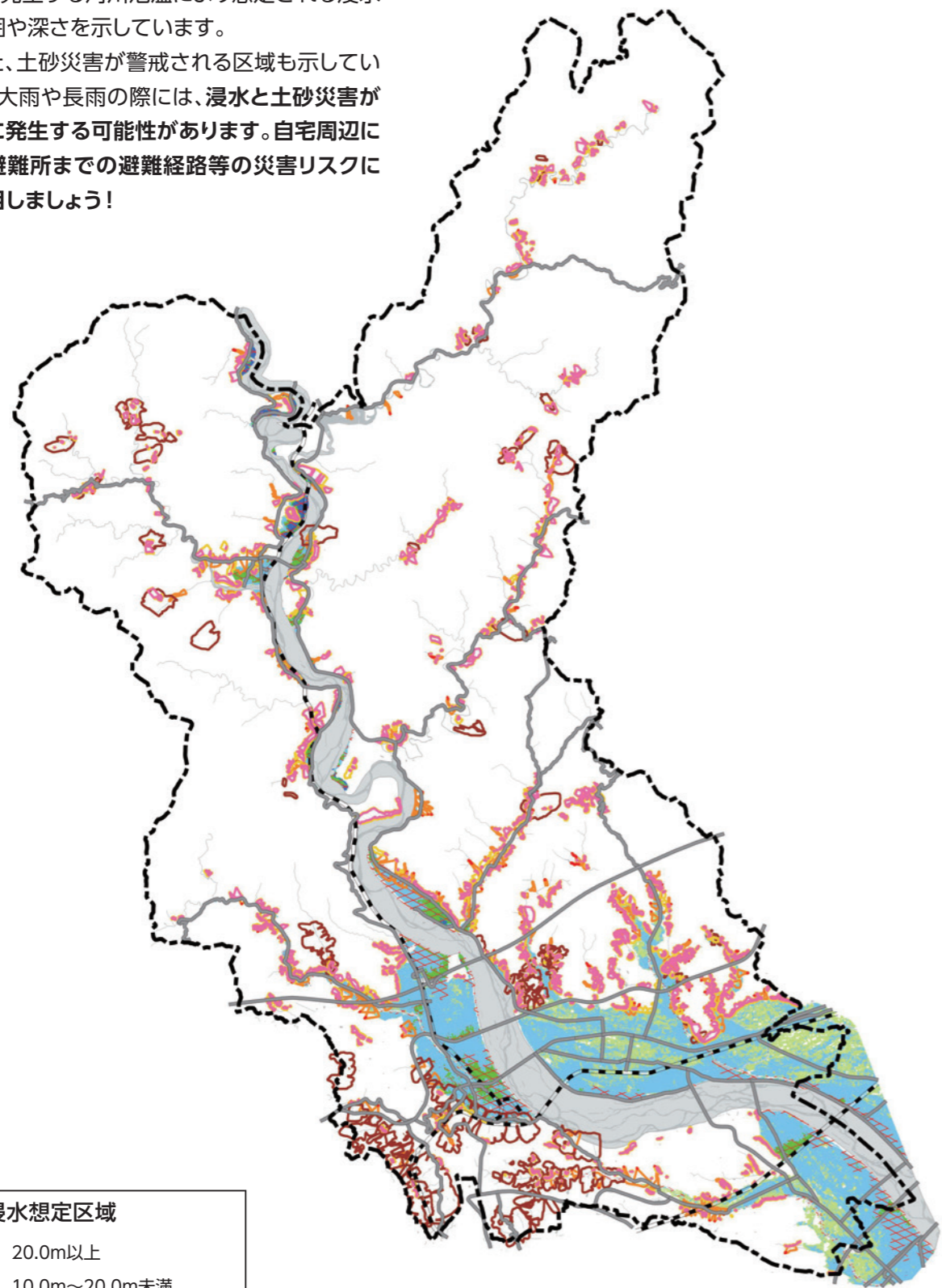


南部の図郭(別冊にて掲載)

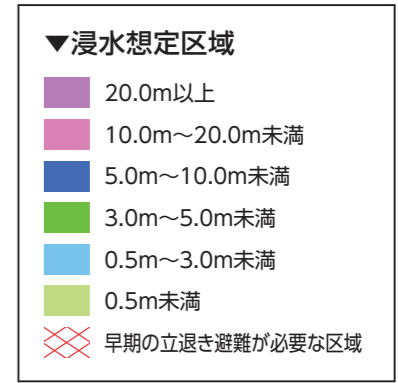
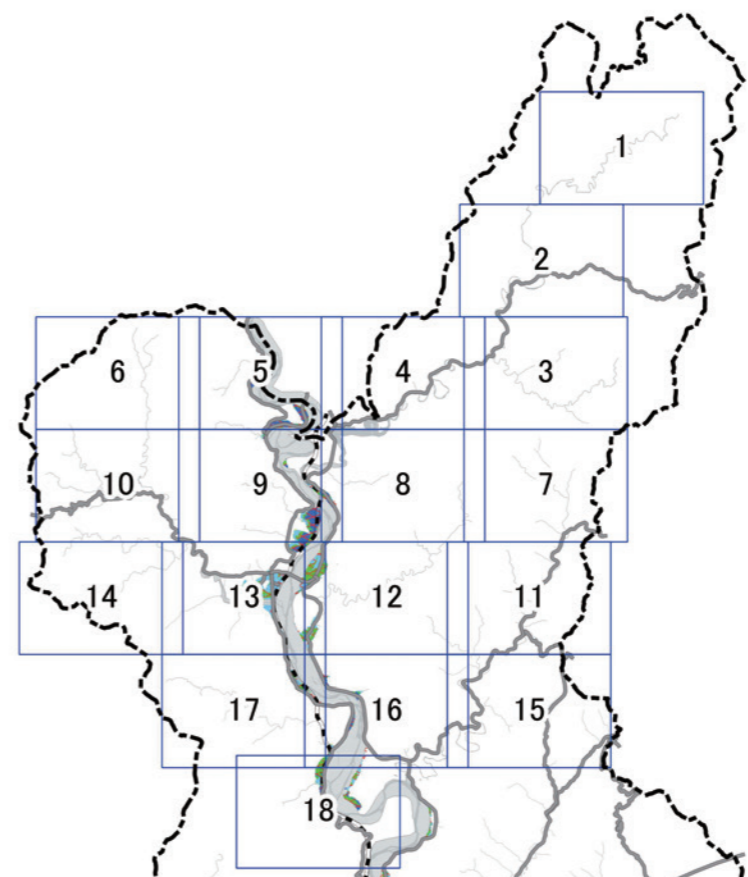
[島田市全域] 想定最大規模の降雨による河川氾濫と土砂災害

このマップは、想定し得る最大規模の降雨によって発生する河川氾濫により想定される浸水の範囲や深さを示しています。

また、土砂災害が警戒される区域も示しています。大雨や長雨の際には、浸水と土砂災害が同時に発生する可能性があります。自宅周辺に加え避難所までの避難経路等の災害リスクにも注目しましょう！



[島田市北部] 想定最大規模の降雨による河川氾濫



[島田市北部] 土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域

